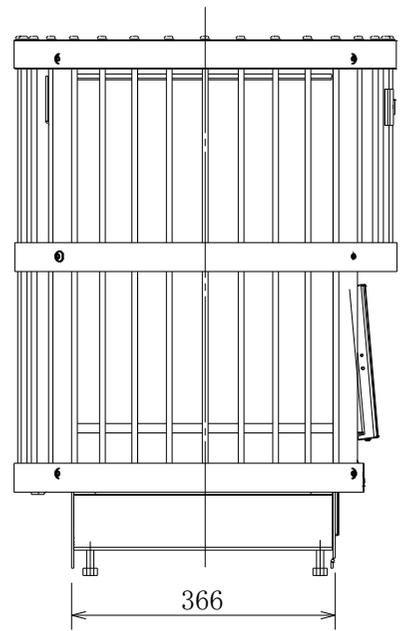
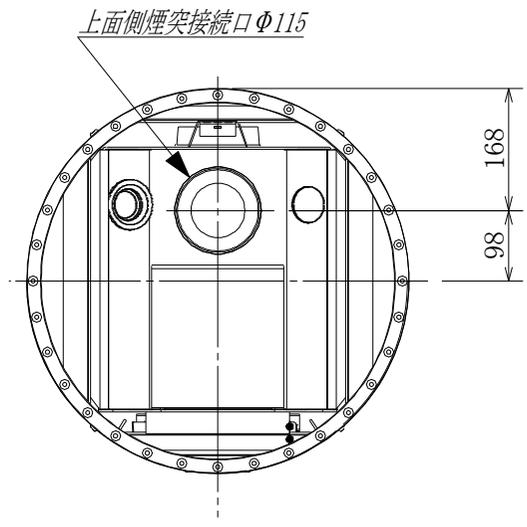


正面図



側面図

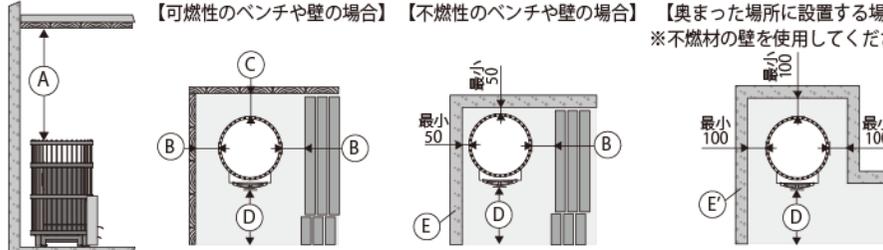


上面図

| | | | | |
|-------|------------|-------|--|---|
| 品名 | LEGEND 150 | 仕様 | |  株式会社HARVIA JAPAN |
| | | 材質・重量 | 素材：スチール製/重量58kg（サウナストーン最大120kg） | |
| 品番 | WK150LD | 放熱方式 | 対流式 | |
| 燃料/出力 | 薪/16kW | 制御 | 推奨薪サイズ Φ80-120mm 長さ350mm以下 灰受け皿の開閉による風量制御 | |

Case1: ヒーター側面ガードを使用しない場合の最低離隔距離 [mm]

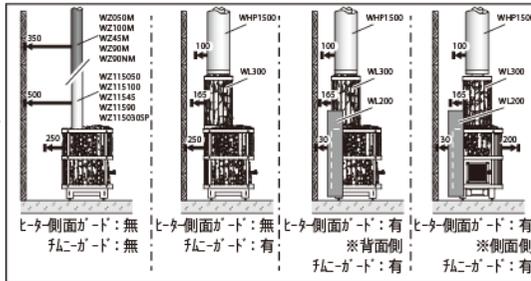
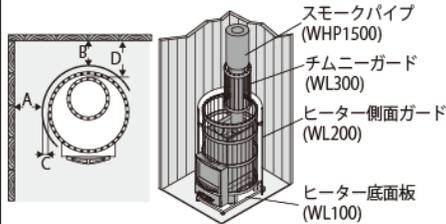
【可燃性のベンチや壁の場合】 【不燃性のベンチや壁の場合】 【奥まった場所に設置する場合】
 ※不燃材の壁を使用してください。



| | 最低離隔距離 [mm] | | |
|----|-------------|-----------|-----------|
| | Legend150 | Legend240 | Legend300 |
| A | 1000 | 1000 | 1000 |
| B | 200 | 200 | 200 |
| C | 250 | 250 | 250 |
| D | 500 | 630 | 680 |
| E | 50 | 50 | 50 |
| E' | 100 | 100 | 100 |

Case2: ヒーター側面ガード (WL200) とチムニーガード (WL300) を使用する場合の最低離隔距離 [mm]

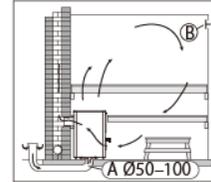
- ヒーター側面ガード: ヒーター側面ガードを取り付けることで、離隔距離を以下まで縮めることができます。
- チムニーガード: チムニーガードを取り付けることで、ヒーターストーンを量を増やし、またチムニーからの離隔距離を以下まで縮めることができます。



| | 最低離隔距離 [mm] |
|---|-------------|
| A | 30 |
| B | 30 |
| C | 50 |
| D | 165 |

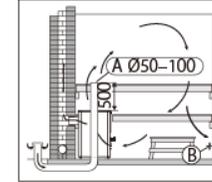
■サウナルームの換気に関して

Case1: 自然換気の場合 [mm]



A: 給気口は、サウナヒーター近隣の床付近に設けてください。
 B: 排気口は、サウナヒーターからできる限り遠くの天井付近に設けてください。ストーブ自体が空気を効果的に循環させます。排気口の役割は、主に入浴後にサウナから湿気を取り除くことです。

Case2: 機械式換気の場合 [mm]



A: 給気パイプは本体の上部から約 500mm 突き出してください。
 B: 排気口は、例えばベンチ下など床付近に設けてください。

■床材に関して



- 本体重量に耐えられる強固で、本体が傾くような凹凸がない水平な床に設置すること。必要に応じて、床に補強を施してください。
- 保護材として軽材を壁や天井の表面に使用しないでください。火災の恐れがあります。

Case1: タイルのないコンクリート床



60mm以上の厚さのタイルのないコンクリート床の場合、サウナヒーターをそのまま床に設置することができます。コンクリート内に電気配線や水道管などがいないことを確認してください。

Case2: タイルフロアの場合



接着剤や石こう、防水材はサウナヒーターからの輻射熱に対する耐熱性が十分ではありません。純正部品のヒーター底面板を必ず設置してください。

Case3: 可燃性の床材の場合: 純正部品のヒーター底面板を必ず設置してください。また、サウナヒータードア前面の床は必ず不燃性の床材を設置してください。

| 品名 | LEGEND 150 | 仕様 | |
|-------|------------|-------|--|
| | | 材質・重量 | 素材: スチール製/重量58 k g (サウナストーン最大120 k g) |
| 品番 | WK150LD | 放熱方式 | 対流式 |
| 燃料/出力 | 薪/16kW | 制御 | 推奨薪サイズ Φ80-120mm 長さ350mm以下 灰受け皿の開閉による風量制御 |



| 製品名 | 薪サウナヒーター Legend150 | 薪サウナヒーター Legend240 | 薪サウナヒーター Legend300 |
|---------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 適用サウナキャビン体積 | 6-13m ³ ※ | 10-24m ³ ※ | 14-28m ³ ※ |
| チムニークラス | T600 | T600 | T600 |
| 接続口直径 | 115mm | 115mm | 115mm |
| サウナストーン量 (目安) | 最大 120kg | 最大 200kg | 最大 260kg |
| サウナストーンサイズ | 10-15cm | 10-15cm | 10-15cm |
| 重量 | 58kg | 75kg | 94kg |
| 幅 | 530mm | 600mm | 600mm |
| 奥行 | 530mm | 600mm | 600mm |
| 高さ (高さ調整) | 740(+0~30)mm | 830(+0~30)mm | 1040(+0~30)mm |
| 燃焼部カバー厚さ | 5mm | 10mm | 6mm |
| 燃料用薪最大長さ | 35cm | 39cm | 47cm |
| 燃料用薪直径 | 8-15cm | 8-15cm | 8-15cm |

※①非断熱面積 (ガラス窓など) 1m² に付き 1.2m³ の体積を加算する必要があります。

例) 高 2m x 幅 2m 奥行 2m のサウナルームに 1m² の窓がある場合

サウナルーム体積: 2m x 2m x 2m=8m³

非断熱面積: 1m² x 1.2→1.2m³

⇒ 適当体積が 8m³ + 1.2m³ = 9.2m³ のサウナヒーターを選定してください。

②内装の壁の熱容量が大きい (ストーンなど) 場合、1m² に付き 1.2m³ の体積を加算する必要があります。

例) 内装が全てストーンでできた 高 2m x 幅 2m 奥行 2m のサウナルームの場合

サウナルーム体積: 2m x 2m x 2m=8m³

ストーン壁面積: 5面 (床を除く天井、側面) x 2m x 2m x 1.2 → 24m³

⇒ 適当体積が 8m³ + 24m³ = 32m³ のサウナヒーターを選定してください。

③パレルサウナやログハウスに設置する場合、体積を 1.5 倍として、適用体積を検討してください。

例) 高 2m x 幅 2m 奥行 2m のログハウスサウナルームの場合

サウナルーム体積: 2m x 2m x 2m=8m³

⇒ 適当体積が 8m³ x 1.5 = 12m³ のサウナヒーターを選定してください。

| 品名 | LEGEND 150 | 仕様 | |
|-------|------------|-------|--|
| | | 材質・重量 | 素材: スチール製/重量58kg (サウナストーン最大120kg) |
| 品番 | WK150LD | 放熱方式 | 対流式 |
| 燃料/出力 | 薪/16kW | 制御 | 推奨薪サイズ Φ80-120mm 長さ350mm以下 灰受け皿の開閉による風量制御 |

